

“やっちゃんえ”鳴高！～保護者の皆さまへ校長メッセージ～

「鳴尾力」を鍛えて育てる！Part 2 テーマ「防災」

忘れてはいけないこと 1. 17

1995年(H7.1.17、5時46分52秒、兵庫県の淡路島北部(神戸市垂水区)沖の明石海峡を震源とした、マグニチュード7.3の兵庫県南部地震(阪神・淡路大震災)が発生しました。近畿圏の広域で大きな被害を受けましたが、特に震度7の激震に見舞われた阪神間(神戸市、芦屋市、西宮市、宝塚市等)、淡路の一部の地域での被害は甚大で、家屋等建物の倒壊、火災等により6,434人の方がお亡くなりになり、3人の方が未だに行方不明です。

震災当時、平成6年12月に長男を出産して育児休暇中だった私は、朝方に授乳をしようとした矢先に揺れを感じ、とっさに長男の上に覆い被さり、人生で味わったことのない揺れに必死で耐えました。あの時の恐ろしかった記憶は31年たった今でも鮮明に覚えています。揺れがおさまり真っ暗になった室内で手探りで我が子を探すも、いるはずのところにはおらず足下まで移動していく、私の背中は本棚から落ちた本に埋もれていきました。そんな長男も31歳になり、この時期がくると長男に当時の話をします。そして、倒壊した家屋や落下物、その後に起きた火災で失われたかけがえのない命を想います。

東日本大震災(H23.3.11)ではつなみによる甚大な被害があり、それ以降も各地で地震が続いている。記憶に新しいところでは、能登半島地震(R6.1.1)から2年経過しましたが、現在も復興に向けた作業が続いている。最近では、島根県東部で地震(R8.1.6)があったところです。今年2026年は甚大な被害が発生した昭和南海地震(1946年)の発生から約80年が経過し次の南海トラフ地震発生の切迫性が高く、いつ巨大地震が起きてもおかしくない状況です。「防災」について、ご家庭でもお子様と自分事として考えるきっかけになさってください。

2月号のNHGsテーマ：ゴール3

2月号

鳴高高等学校

笑顔

夢

プロジェクト

<質問コーナー>

【Q】 校長先生は「防災」について、鳴高生にどんなメッセージを伝えたいですか？

【A】 私は阪神淡路大震災を経験していますが育休中で、勤務校(県立夢野台高校)が避難所になり、筆舌に尽くしがたい当時の状況を経験していません。「防災」について真剣に考え始めたのは、県立芦屋高校で教頭として勤めていた時です。県下でも最後まで避難所を開設していた芦屋高校では、ボランティア部を中心に「防災」について学び、考え、阪神淡路大震災の教訓を継承する学校風土があり、近隣の宮川町の住民の皆さんとも密に連携しながら、度々話し合い、合同で避難所設営の訓練する機会もありました。ちょうどその時に東日本大震災から復興して5年目あたりの宮城県石巻市、閑上(ゆりあげ)の鎮魂の丘(日和山)、気仙沼市、一部避難解除となった福島県浪江町を訪れる機会があり、普通にあった当たり前の日常の生活が、家屋が、命が、津波とともに根こそぎ流され、放射能の恐怖にさらされるのだという現実に立ち尽くしました。お子様には、いかなる状況にあっても、自分で情報を得て、考え、判断し、命を守る行動がとれるよう、日頃から意識して欲しいと伝えています。

【鳴高トピックス】 ※詳しくは鳴高HPで

back number

- 震災追悼行事 (R8.1.16 金)
- 鳴高北小防災出前授業 (R8.1.20 火)

Future

- マラソン大会 (R8.2.6 金)
- 学年末考査 (R8.2.19 木～26 木)
- 卒業式 (R8.2.27 金) ※予行 (R8.2.26 木)

※体育館アリーナ使用禁止 (R8.1.26 月～2.14 土)

卒業式予行、卒業式には体育館の空調が入る予定

